|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(33)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年8月17日　週間祈りカード | | |
| △産業宣教  産業の流れを変えた人々(創6:14) | △RTとTCK伝道学  時代の流れを変えたRemnant(イザ62:6-12) | △核心  世界の流れを変えた伝道弟子(ガラ2:20) |
| □序論  1.流れの始まり  1) 90% -根本、基本、基礎90%人々は無能だ。その中で40%はあきらめている状態、それでももがく人がおよそ50%だ。この人々は、ほとんど根本がうまくいかなくなっている。勝つことができる姿勢にならなくなっている。基本ができていないのだ。そして、実力がない。基礎ができていないのだ。  2) 10% -ネフィリム10%のエリートがみなネフィリムの影響を受けている。  3)福音化-霊的段階に入らなければならない。  2.流れの内容世の中を変える流れの内容をイエス様が弟子を集めて40日説明された。  1)やぐら- 24やぐらを建てたのだ。  2)旅程- 25キリストが超越的な力を与えられる旅程を行くことが25、神様の力だ。  3)道しるべ- 永遠イエス様が所々の道しるべを説明された。  3.流れの目標-地の果てこれをわかった重職者がロマ16章の人々だった。  1)味わう(約束)神の国、約束したことを味わって待つのだ。  2)待つ(神の国)神の国が臨むように待ちなさい  3)挑戦(こと)味わうようになれば待つことができる。すると挑戦することができる。これが流れの目標だ。復活されてすぐ地の果てまで行って弟子としなさい。すべての国の人々。万民に行きなさい。このことを見ることができれば良い。そして、アンティオキアに、その時から、もうアジアに、マケドニアに、ローマに行ったのだ。  □本論\_ 0.1%  聖書の重職者と産業人は、この祝福を受けた0.1%の人だった。  世界化/福音化　福音化された人が世界化になるのだ。これを世界福音化と言う。  1.創6:14、18、20わたしなく、あなたのために箱舟を作りなさい。  2.創14:14-20神様はアブラハムに家で訓練された者318人がいるほどに祝福  創26:10-24この祝福がイサクに伝えられて泉の源泉を得る  3.出18:1-21イテロ　4.ヨシ2:1-16ラハブ  5.Iサム16:1-13神様がダビデに時代の流れを見るようにさせられて、何をすべきかを教えられた  6.I列18:1-15神様の最も重要な流れを見たオバデヤは、預言者を隠した  7.ダニ1:8-9神様が行われる流れを見て心を定めた  8.ロマ16:25-27神様が世々にわたって隠されていて、永遠にあることを見るようにされた  □結論  1.時代の流れをレムナント7人がこれを見たのだ。  2.絶対必要なこと(当然、必然、絶対)が見える。  3.神様の絶対計画が見える。 | |  |  |  | | --- | --- | --- | | 御座化 | 世界化 | 福音化 |   40日、10日、使2:42　使2:46-47、24、25、永遠   |  | | --- | | 制限的集中、選択的集中、ワンネス集中 |   △イエス様がオリーブ山に呼んで40日説明された。これを世界教会が逃したのだ。この御座化を分からなければ、祈りが分からないが、この祈りをすればレムナントに世界化になる祝福が臨み、私たちが福音を持っているならば、福音化が出てくる。40日間集中したが、マルコの屋上の部屋に来て10日間本格的に祈った。使2:42には、熱心に祈っていたが、後ほど「毎日家で、毎日宮で」に変わった。これが24、25、永遠になった。答えが出てくる時まで制限的集中(ただ)をすれば、神様が与えてくださったことが見える。選択的集中をするのだ。そして、世界を掌握できるワンネス集中をすれば良い。  □本論  1.RT 7 -奴隷に行ったが、この契約を握っていて総理になり、養子に行ったが世界をひっくり返す指導者になった。荒野の道を40年行く間、神様はヨシュア、カレブ、ラハブだけを連れて行かれた。  間違った信仰は、間違った答えが来て、不信仰は答えが来ない。契約を握った人は契約的な信仰の答えが来る。  2.TCK -奴隷、捕虜、属国、流浪の民、散らされた者、旅人、残りの者、この人々が世界を生かしたのだ。これを分かれば、世界福音化に用いられる。  3.CCK、NCK -文化圏から完全に反対の側にいる次世代、文化の恩恵を全く受けることができない次世代が完全に今捨てられている。5千種族だ。  △契約を握って味わって待ちなさい。さらに重要なのは、信じるこの瞬間、答えは始まるということだ。 | 3庭-金土日時代に見つけて味わうべきこと   |  |  | | --- | --- | | 3集中 | 詩5:3朝、23:1昼、17:3夜 |   レムナントが祈りの力を受ければ良い。これよりさらに重要なことはない。すべてのエネルギーは脳から始まるので、祈りが分からなければ死ぬ。   |  |  | | --- | --- | | 3  セッティング | 編集、設計、デザイン |   -みことばで答えが出てきて神様の計画、現場が見えるべき。   |  |  | | --- | --- | | 3答え | 問題、葛藤、危機 |   -勝つことができる力。答えと更新しなければならない方向、絶対機会を持って行ったこと  このようになるとき、世界の流れを変えた伝道弟子となる。聖日に祈りができる奥義の中に入って行けば、六日間に答えを確認するようになって、癒やしも起こる。祈り(霊的な生命線)と呼吸(私のからだの生命線)を一つにすることを指して黙想と言う。  □序論\_三つ先に教えること  1.道  1)律法x -ユダヤ人　2)戦争x -強大国　3)使いx -クリスチャン  2.オリーブ山-イエス様が教えられた完全な道  1)やぐら　2)旅程　3)道しるべの見張り人になること  3.光のやぐら-イエス様が教えられた完全な道が私のことになる体験をさせること  1)Ⅱコリ5:17新しい被造物  2)ガラ2:20私は十字架で死んでキリストが私の中におられる  3)ピリ3:8-21  □本論\_門を閉ざす世界教会、70%未自立である世界の流れと、肉的に行く教会の流れを霊的に変えなさい。  1.9つの流れに変えなさい。  1)正確な情報-広さ、高さ、深さ　2)正確な答え-過去、現在、未来  3)はやい状況判断-上、下、横  2.流れの内容  1)やぐら-プラットフォーム　三位一体の神様、過去・現在・未来を完全に変える力、5力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力が臨んで未来が見える。そして、現場と教会に3つの庭を作ることができるやぐらが私のプラットフォームになるようにさせなさい。  2)旅程-見張り台  3)道しるべ-アンテナになるように変えなければならない。  3.答え(方法)  1) OURS -職業にただが臨めば、人が来るしかはなくて、唯一性、再創造がシステムになる。  2) WIOS -どこにいても神様があなたとともにおられ、私たちとともにおられて、すべての中に働かれる。これがシステムなるのだ。  3)変わる霊的DNA -主は生ける神の御子キリストです(教会、よみx、天国の鍵)。新しい被造物、あなたの中にキリストが働かれる。 |
| △散らされた弟子たち  巡礼者の流れ(使27:24) |
| 祈りができるなら、巡礼者はすべてを  1.受容する力がなければならず、さらに重要なのは、受容するほうがはるかに有益だ。  2.受容すれば超越するのだ。  3.そして、レムナントはすべてのことに与える答えを持って行きなさい。  金土日時代、三つの庭に入る前に、ここに座っている重職者も牧師、牧師夫人がまず一度準備してみなさい(3集中、3セッティング、3答え)。この時間を持つ必要がある。それでこそ、レムナントに説明することができる。 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(33)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年8月18日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ第33週  サミットの庭と永遠の答え(ヨハ21:15-18) | △聖日１部  暗やみのやぐらを打ち倒せ(Ⅱコリ10:3-6) | △聖日２部/レムナントサミット委員会ミッションスクール献身礼拝  世の中を生かす力を持ったレムナント(Ⅱコリ12:1-10) |
| □序論\_三つの力  1.霊的な栄養(免疫力) -祈りの庭(癒やし)　これは目に見えないように思えるがとても重要だ。それゆえ、聖書には祈りの庭が癒やしの庭なので作れと言われたのだ。生きていくのに多くのできごと、多くの声が聞こえる。弱い人は大変だが、私たちは霊的力で生かさなければならない。  2.外国人-異邦人の庭　私たちが外国に出たり、住むようになれば、落ちつかなくなって、不安だ。それゆえ、この人たちを助けなさいと聖書には異邦人の庭を作りなさいと言われた。  3.子どもたち-子どもたちの庭　子どもたちは育って勉強して、職業も持って、事業もするようになるが、これを正しく準備させるために子どもたちの庭を作りなさいと言われたのだ。  △ただ、唯一性、再創造、300% -子どもたちに祈りを教えれば、ただを発見、唯一性の祝福を悟って、他の人を生かす再創造の答えを受ける。300%準備させるのだ。これが「サミットの庭」だ。  △刻印(脳、たましい、永遠)、からだ-それゆえ、私たちの次世代にこの祝福を刻印させるのだ。脳に先に刻印されて、たましいの中に刻印されて、永遠のこととつながる。後ほど、からだに現れるのだ。  □本論  1.両親-重職者  1)出2:1-20ヨケベデが契約を植えて子どもを王宮に送ったが、これが世界を変えた。  2)Iサム1:9-11サムエルを作り出したハンナの祈りだ。  3)I列18:1-15オバデヤが預言者を助けたが、これがドタンの町運動、アラムの国を防ぐ世界的な運動に変わったのだ。  4)ダニ1:8-9イザヤがした話をダニエルが心にとどめたのがバビロンを変えた。  5)使2:10マルコの屋上の部屋にローマから来た旅人、プリスカ夫婦がローマを変化させたのだ。  2.イエス様の約束  1)ヨハ2:12-25三つの庭がなくなったのを見て、イエス様が憤られ、ムチを振り回された。  2)ルカ23:28イエス様が「わたしのために泣かずに、あなたの子どもたちのために泣きなさい」と言われた。  3)ヨハ21:15-18イエス様がペテロを訪ねてきて「子羊を飼いなさい」と言われた。  3.教役者(パウロ)  1)会堂-パウロは子どもたちがいる会堂に行った。  2)ローマ-パウロは世界を生かすことができる、全世界の次世代がいるローマに行った。  3)ロマ16:25-27神様が隠しておかれた、この福音の奥義を伝えたのだ。  □結論\_みことば  神様のみことばは必ず成就する。イエス様がこのみことばは「一点一画も消え去ることはなく、すべてが実現します」と言われた。 | □序論  1.やぐらを変えるために知る必要があること  1)キリストが私たちを救われた後、与えて行かれたこと-やぐら、旅程、道しるべ  2)理由-これから多くなる三つ(1)精神病時代(2)病気時代(3)中毒時代  △それゆえ、キリストが私たちに御座のやぐら、御座の旅程、御座の道しるべを与えて行かれた。  2.暗闇のやぐらを打ち倒さなければならない。  1)先進国-征服、後進国-奴隷、イスラエル-仕える  2)強いやぐら、要塞-すべての理論、考え、神様を分からなくさせる高い知識を神様のみことばで打ち倒すことができる(4-5節)  3.やぐらを変えなさい。  1) 40%あきらめ、50%苦しむ、10%少しできる人  2)ただ福音、みことば、祈り、伝道の祝福を受けなければならないと考えただけで答えが来始めた  □本論  1.霊的身分を先に回復-237を生かすほどのやぐらを建てること  1)三位一体の神様が私とともに　2)御座の力  3)過去、現在、未来-思い通りにできない。  4)5力を約束  5)空中の権威を持つ支配者に勝つ力　　6)三つの庭  2.霊的権威を回復する力-キリストの光を照らす旅程  1)みことば、祈り、伝道に答えられる三位一体の神様  2)10の土台　3)10の奥義　4)5つの確信  5)9つの流れ　6)一生の答え　7)キャンプ  3.次世代を生かす道しるべ  1)すべてを解決したカルバリの丘　2)絶対ミッションを受けたオリーブ山  3)やぐらがひっくり返るマルコの屋上の部屋  4)患難の時に来るアンティオキア  5)最高の聖霊導きがあったアジア  6)門が閉ざされたと思ったがマケドニアに  7)ローマに  ※私の中に暗闇のやぐらがあるが、福音のみことばで十分に解決することができる。  □結論  1.3集中、3セッティング、3答え  1)この祝福を私のことにする3集中  2)重要なことが作られる3セッティング  3)問題、困難、危機の中に答えを持って行く3答え  2.神様のやぐらに変えてしまいなさい。契約だけ握れば神様が変えられる(使1:8)  3.変えなければならない理由  1)だめなことで私の中に家を作っている(マタ12:43-45)  2)サタンが縛られて、聖霊が臨めば神の国が臨んだのだ(マタ12:28-29)  ※すべてに感謝、すべてを祈りに変えなさい。 | 一日中、契約を握って深い祈りをするならば、すべてが解決されるだろう。聖書はそうなっている。いのちを尽くして神様を愛しなさい。その事実を子どもに教えなさい。最も良い働きは、次世代のために献身することだ。  レムナントに成功の後のことを教える必要がある。あなたの目標は世界福音化だ。そうでなければ成功して崩れる。ヨセフの兄たちの目標はよく食べて良く暮らすということだったが、ヨセフは世界福音化であった。サウル王の目標は自分が良く暮らすことだ。ダビデの目標は、国々に主なる神様を知らせることだ。世の中を生かす力を持っているレムナントを作らなければならない。  私を生かす力24、世の中を生かす力25、時代を生かす力永遠がWRCのみことばだった。  □序論\_成功以降のこと教えなければならない。  1.霊的サミット 先になる必要がある。  2.技能サミット-霊的サミットから出たことで勉強しなければならない。  3.文化サミット-勉強を持って世界福音化しなければならない。  △３団体がみな掌握したので、レムナントに必ずこれから教える必要がある。皆さんの子どもがどこにいても大丈夫でなければならない。いのちをかけて三つの庭、金土日時代をすべきだ。  □本論  1.RT7 -レムナント7人が受けた祝福を引き継ぎなさい。  1)創37:11レムナントの心の中に世界福音化を置けば働きは始まる。  創41:38主の霊が宿るようにされた。  創45:5ある日、世界福音化できるように総理になった。  2)詩78:70-72幼いときに契約と祈りが何か入った  Iサム17:1-47ゴリヤテを止める働き、1千やぐら、神殿準備  3)ダニ1:8-9イザヤが教えた契約を握ったレムナントが、４人の王を動かした。  2.パウロの告白  1)最高の学問を学ぶ  2)ユダヤ人教育→これで世界福音化できない。  3)Ⅱコリ12:1-10祈りの深い力の中に入った  △レムナントは勉強しなければならず、精神教育も必要だが、霊的力がなければならない。  3.パウロが残したこと　使19:8 -イエス様が説明されたことを伝達したパウロ  1)使17:1やぐら-キリスト説明、まことのやぐらを伝えた。  2)使18:4まことの礼拝と人生の旅程を行く力が何かを伝えた。  3)使19:8本当に答えを受ける道しるべ-神の国  □結論\_地の果て- 「未来」を見ること  ヨハネ14:16、14:26、16:13助け主聖霊を約束  △レムナントに霊的な力で勉強することは何かを説明する必要がある。皆さんの職業を世界福音化に準備しなさい。新しい始まりをしなさい。 |